
主人公の親友！

aeran

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

主人公の親友！

【Nコード】

N7404K

【作者名】

a e r a n

【あらすじ】

夢も希望もない世の中に迷える男が一人

男子高卒現在無職彼女いない暦〃年齢の彼の前に

突如初老の男性が現れた

「夢が見たいかい？見させてやるよ」

一体この男は何者なのか？男の見せる夢とは？

彼は今後どのような恥ずかしい痴態を晒す羽目になるのか！

ファンタジーオリジナル作品！主人公の親友！ご期待ください！

1 話目（前書き）

注意書き

- ・若干のネット用語やスラングを含みます
- ・身内ネタが入る場合があります
- ・仕事の合間を縫っての執筆の為、次回投稿は首をながくくしてお待ちください
- ・幼児や児童に対して悪影響を与える場合があります。お子様の手の届かない所に保管してください

1 話目

「はぁ・・・またダメだったか・・・」

そう言いながら直樹は先月面接した会社の可否通知を涙目で見つめている

心なしか、今にも膝から崩れ落ちそうに見える

ここは茨城県H市

穏やかな気候、気持ちのいい海岸線とは裏腹に

景気はこの眼前に広がる景観ほど良くはないらしい

「参ったなア・・・」

兎に角これで不採用通知のコレクションがまた1枚増えたことになる

1枚目は大手の貿易会社、これは無謀であった

もちろん落ちて当たり前と思って受けたので、さほどショックではなかった

2枚目は大手製菓会社、これは面接がなかなかの好印象であった為にもしかしたら受かるんじゃないか、という期待があった分通知を見た時はそれなりにショックだった

3枚目、4枚目は地元の中小企業

これは正直受かると思っていた

しかし現実はそのままで甘くなかった

この辺りから彼は根拠のない自信を失ってしまった

不思議なもので中身の無い人間ほど根拠の無い自信はあるものだがその良く分からない自信すら無くなってしまった彼はさながら抜け殻餡子の詰まってない鯛焼きのように上っ面だけで中身が伴わないふにゃふにゃの人間に成り下がったのであった

そして5枚目の通知が今朝方ポストに届いたというわけである

「こんな風になっちまうなんて思わなかったなア・・・」

そう言いながら青々とした空を見上げる

スカッと気持ちいいほどに晴れ上がった空とは対照的な表情を浮か

べたかと思えば

すぐさまその苦悶に満ちた表情は消え、笑みがこぼれる

自虐の笑みであった

傍目から観れば相当気味が悪い男である

ここでこの男のスペックを紹介しようと思う

名前は 世古 直樹

それなりの高校をそれなりの成績で卒業したにもかかわらず

就職先で先輩との折り合いが合わず僅か7ヶ月で退社していた

しかしながら学生時代にもらった小遣いやバイト代をコツコツと貯

金していたので

退職後半年はコミケや例大祭に行ける程の裕福な暮らしぶりであった

趣味は投稿動画サイトの鑑賞と巨大掲示板への書き込み、弾幕シュ

ーティングゲーム等様々で

それに加え貯金も趣味の一つといえるのかもしれない

数年前に流行った10万円貯金箱を複数所持している

またゲーマーでもあり、近所のゲーセンではささやかな敬意と怨恨を

込められ、極めて欲深いものという意味で「第六天魔王」と呼ばれ

る存在でもある

平日はもっぱら公共職業安定所のお世話になっている

今更ながら彼女の有無に関してはご想像にお任せしたい

大方の予想通り・・・であると言っておきたいと思う

珍しく早朝に起きたにも拘らず気分の悪い一日の始まりとなつて

しまったので

直樹は玄関から部屋へ戻ると早々と床に就いた

不貞寝兼二度寝をする為であった

この時間ではまだハロワも開いてないし、なにより先日は明け方まで

ネットゲームに興じていたので無理はない

まだ温もりが残る布団に戻ると完全に眠りにつくまでそれほど時間

は掛からなかった

「夢ならよかったのに・・・」

眠りに就くか否かの間際、そんなことを考えていた・・・

正午を回った頃にふと目が覚めた直樹はとりあえずハローワークへ行くことにした

いそいそと準備を済ませ、自転車でハローワークへ向かう道中は通いなれた道で途中にコンビニ、住宅地や公園があり、そこそこ賑わっている界限だ

5分ほどで目的地に着き、早速仕事を探しては見るものの

2週間前に来たばかりだったので新規の求人はほとんど見当たらなかった

1時間ほど条件を変えて探してみたもののインスピレーションが働くような

求人はなく肩を落として帰路についた

そうだ・・・家に帰ってネットゲしよう・・・

直樹は最近、将来の自分の姿を思い描くことをやめた

以前であれば多少人並の夢や希望は持っていたはずであるだが5連敗ともなれば思考は変わる、いや変えざるをえない自分にはきつと天運が向いてないのだ

そう考えてすっかり真剣に考えることを止めてしまっていた

自転車を漕ぎながらボーっとしていた直樹であったが

ちよつとした異変に気づいた

凜とした静寂

・・・静か過ぎるのだ・・・

ふと周りを見渡すと人影すらないことに気づく

普段は交通量の多い道なのに車は1台も走っていないし

なにせ昼過ぎの住宅地のだ真ん中にいるもかかわらず物音すらしないのはおかしい

聞こえてくるのは柔らかな風の音と鳥の声だけであった

直樹は少し怖くなって、おもむろに自転車のスピードをあげた
いない・・・いない・・・

どこにもだれもいない・・・

直樹の額からぬるい汗が滴り落ちる

聞こえるのは自分の吐息だけのような・そんな感覚に陥る
直樹は焦っていた

近所の公園に差し掛かって直樹はようやく足を止めた

公園のベンチに初老の男性が座っているのを目にしたからだ

大きなため息をついて直樹はようやく平常心を取り戻した

まだ少し心拍数が上がっている

少し休憩をしようと直樹は駐輪場に自転車を止め、自販機でスポーツ飲料を買って

その初老の男性の隣のベンチに腰掛けた

パツと見60〜70歳といったところだろうか

深々と被った帽子のせいで顔全体は見えないものの

目尻から頬にかけて大きな皺が見えた

顎鬚は立派だが白髭が大半で無精髭のようにもみえる

顎が細いのは名家の育ちだと昔テレビでみたことがある

もちろん一概にそうとは言えないが顔立ちや身なりから気品が漂っている

「よう、坊主。ワシの顔に何かついてるかい？」

唐突に男が話しかけてきて直樹は面食らった

「人の顔をじろじろ見ておいて一言もなしかい、世も末だなあ」

「見ていた事は謝りますがそんな言い方はないでしょう！」

直樹は憤慨した

いつもであれば適当に受け流してしまう事だが、直樹は正直イライラしていた

就職活動がうまくいかないことや、まだ収まりきらない動悸もあったの激昂だろう

「そうカッカするねい、嫌な事でもあったのかい？」

「今しがた不快な言葉を耳にしたせいですかね！」

そう言っただけを向いた直樹であったが、初老の男はよろよろと立ち上がって

直樹の目の前に移動すると帽子の端をクイツとあげてこう続けた
「お前さん、嫌いな面してるなあ・・・将来なんてどうでもいいって
面だ。この世の終わりみたいな
面してるぜ」

直樹は感情が高ぶってはいたが、心を見透かされたような言葉に反
論できない

「夢も希望もない人生が楽しいかい？」

初老の男はニヤリと微笑んだ

「それじゃあお前が夢を見させてくれるのかよ！就職もできない、
彼女もない、こんな人生に希望なんか持てるのかよ！」

すると男はまたニヤリとほくそ笑み

「夢が見たいかい？見させてやるよ」

そう言つて瞬く間に手で印を結び、怪しげな呪文を唱え始めた

オン・アボキヤシツデイ・アク・オン・アボキヤシツデイ・アク・

・

直樹はあつけにとられてしばらく動くことが出来なかった

もしかして変な人に絡まれてしまったのだろうか・・・

いや、もしかしなくてもそうなのだろう

直樹は家に帰ろうと立ち上がるうとしたその時、不可解なことに気
づいてしまった

地面がない・・・

ベンチに座っているはずなのに地面に足が届かない

確かに直樹は若干短足ではあったものの座った状態で地面に足がつ
かないわけがない

直樹を乗せたままベンチは30cmほど浮いていた

「うわあああああああ」

「夢をみてこいよ、気が済むまでな」

男はそう言つて高らかに指を鳴らすと直樹の眼前から姿を消した
いや、姿を消したのは直樹の方であった

直樹を乗せたベンチは地上5mほどに急上昇し、眩い閃光を上げて

虚空に消えたのであった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7404k/>

主人公の親友！

2010年10月20日04時48分発行